

天においても地においても、いっさいの権威を持つ方としてのキリスト

聖書：マタイ 7:29, 21:24, ルカ 5:24, ローマ 9:21-22, ヘブル 13:17

I. わたしたちは「権威」についての定義を持つ必要があります——マタイ 7:29：

- A. 「権威」についての最上の定義は、「命令を発し、決定し、服従を強いる権力または権利であり、しばしば権力の地位あるいは専門知識から生じるもの」です。
- B. 聖書の中で「権威」とは、「権力を行使する道徳上の権利であり、究極的には神から生じる、また神を起源とするもの」です。

II. 神は最高の権威です。彼はすべての権威を持っています——ローマ 9:21-22：

- A. 神の権威は、神ご自身を代表します。神の力は、神の働きだけを代表します——マタイ 21:24, ルカ 5:24。
- B. 神の権威は、実は神ご自身です。権威は、神ご自身の存在から出て来ます——啓 22:1。
- C. すべての権威は、霊的なものであれ、地位上のものであれ、行政上のものであれ、神から出て来ます——Ⅱコリント 10:8, 13:10, ヨハネ 19:10-11, 創 9:6。
- D. わたしたちは神の権威に触れるとき、神ご自身に触れます——イザヤ 6:1-5：
 - 1. 神の権威に出会うことは、神に出会うことと同じです——アモス 4:12。
 - 2. 神の権威に対して罪を得ることは、神ご自身に対して罪を得ることと同じです。
- E. わたしたちと神との関係において、権威に触れること以上に重要なことはありません——使徒 9:5, マタイ 11:25。
- F. 権威を認識することは、内側の啓示であって、外側の教えではありません——使徒 22:6-16。
- G. 神だけが、人に対する直接的な権威です。他のすべての権威は、間接的な権威、すなわち、神によって立てられた代理権威です——ダニエル 4:32, 34-37：
 - 1. わたしたちは神の権威に出会うときはじめて、神が立てた代理権威に服従することができます——マタイ 28:18, ヘブル 13:17, I ペテロ 5:5。
 - 2. 神は、わたしたちが神だけに服従することを求めているのではなく、すべての代理権威にも服従することを求めています——ローマ 13:1-7, Ⅱコリント 10:8, 13:10, ヘブル 13:17。
 - 3. 神の間接的な権威に服従しない者たちは、神の直接的な権威に服従することができません。
 - 4. 神は、わたしたちが間接的な権威に、すなわち代理権威に服従することを求めます。それは、わたしたちが霊的な供給を受けるためです。
- H. わたしたちすべては、権威に出会い、神によって制限され、彼の代理権威の導きを受けなければなりません——イザヤ 37:16, ピリピ 2:12, ヘブル 13:17。

III. 宇宙には二つの大きな原則があります。それは、神の権威とサタンの反逆です。神とサタンとの間の唯一の争いは、権威と関係があります——使徒 26:18, コロサイ 1:13：

- A. 反逆は、神の権威を否定することであり、また神の支配を拒絶することです：
 - 1. サタンは、もともとは神によって創造された天使長でした。しかし、彼の高ぶり

のゆえに、彼は自分自身を高く上げ、神の主権を侵し、神に反逆し、神の内敵となり、自分自身の王国を設立しました——イザヤ 14:12-14. エゼキエル 28:2-19. マタイ 12:26。

2. 人は罪を犯したとき、神に反逆し、神の権威を否定し、神の支配を拒絶しました。バベルで、人は集団で神に反逆し、地上から神の権威を廃棄しました——創 3:1-6. 11:1-9。

B. サタンは神の権威に反逆し、また人は神に反逆することによって神の権威を侵しましたが、神はこの反逆を継続させません。神は地上にご自身の王国を設立します——啓 11:15。

C. 宇宙における争いの中心は、だれが権威を持っているかということと関係があります——4:2-3 :

1. わたしたちはサタンと戦って、権威が神と共にあることを肯定しなければなりません——使徒 17:24, 30。

2. わたしたちは、神の権威に服従し、神の権威を維持するよう、決意する必要があります——マタイ 11:25。

D. 反逆の罪は、他のどのような罪よりも重大です——サムエル上 15:23。

IV. 権威（代理権威）をもって神を代行する人は、以下の資格を持たなければなりません :

A. 権威に服従しなければなりません——マタイ 8:8-9。

B. 自分自身の中では何の権威も持っていないことを認識しなければなりません——28:18. II コリント 10:8. 13:10。

C. 神のみこころを知っていなければなりません——エペソ 1:9. 5:17。

D. 自己を否む者でなければなりません——マタイ 16:24。

E. 主と一になり、主との継続的で親密な交わりの中で生きていなければなりません——I コリント 6:17. 1:9. I ヨハネ 1:3。

F. 主観的であってはならず、自分自身の感覚にしたがって行動してはなりません——II コリント 3:5。

G. 他の人たちを取り扱うことにおいて親切で、恵み深くなければなりません——ルカ 6:35. 参照、ローマ 5:15-16. I コリント 2:12。

H. 復活の中の人となって、キリストの復活の命の中で生きていなければなりません——II コリント 1:9. 4:14。

I. 神の御前で低い地位を取らなければなりません——民 14:5. 16:3-4, 22, 45. マタイ 11:29. ローマ 12:16. ルカ 14:7-11. I ペテロ 5:5-6。

J. 反対に耐えることができる人でなければなりません——出 16:7. 民 14:2, 5, 9, 27. マタイ 6:14-15. I コリント 4:6-13。

K. 自分は無能でふさわしくないという感覚を持っていなければなりません——出 3:11. 4:6-7, 10. II コリント 3:5. I コリント 15:10。

L. 適切に神を代行する者でなければなりません——民 20:2-13. II コリント 5:18, 20. エペソ 6:20。

V. 最も重要な祈り、また最も霊的な祈りは、権威の祈りです——マタイ 18:18. マルコ 11:20-24 :

- A. 権威の祈りは、権威に基づいた命令です——イザヤ 45:11. マルコ 11:20-24 :
1. 権威の祈りは、命じる祈りです——イザヤ 45:11。
 2. 神の御前で重みと価値のある祈りを持ちたいなら、わたしたちは神の御前で権威のある命令を発することができる必要があります——マルコ 11:23。
- B. 権威の祈りには二つの面があります。すなわち、縛ることと解くことです——マタイ 18:18 :
1. 普通の祈りは、縛ることと解くことを神に求める祈りです。
 2. 権威を伴った祈りは、わたしたちが権威を行使することによって、縛りまた解く祈りです。
- C. 権威をもって祈るとは、マルコ第 11 章 20 節から 24 節の祈りをするということです。それは、神に向けられているのではなく、「この山」に向けられている祈りです——23 節 :
1. 権威を伴った祈りは、何かを行なってくれるようにと神に求めるものではありません。そうではなく、神の権威を行使し、この権威を適用して、取り除かれるべき問題また事柄を対処します——23 節。
 2. 権威を伴った祈りは、直接、神に求めることではありません。そうではなく、神の権威を直接、適用することによって問題を対処することです——出 14:15-27。
 3. 勝利者の最も重要な働きは、御座の権威を地にもたらすことです。勝利者になりたいなら、わたしたちは権威をもって祈ることを学び、山に向かって語らなければなりません——啓 11:15. 12:10。
- D. 召会は権威をもって祈るとき、ハデス [陰府] を支配します——マタイ 16:18 :
1. 召会には権威があり、あらゆるサタンの事柄を支配します。
 2. 召会は、祈りによって邪悪な霊どものすべての活動を征服すべきであり、また祈りを通して支配権を行使すべきです——ルカ 10:17-19. マタイ 18:18。
- E. わたしたちが権威の祈りをしようとするなら、まずわたしたち自身が神の権威に服従しなければなりません。わたしたちが神の地位に関して神の権威に服従しない限り、また日常生活の中で、すべての実際的な事柄の中で、神の権威に服従しない限り、わたしたちは権威をもって祈ることはできません——イザヤ 45:11. I ペテロ 5:6. 啓 22:1。
- F. 権威の祈りは、天をその出発点とし、地をその到着点としています——雅 4:8. 6:10. エペソ 1:22-23. 2:6. 6:18 :
1. 権威を伴った祈りは、天から地へと祈られます。すなわち、それは天上の地位から始まり、天から地へと下に向かいます——2:6。
 2. 下に向かって祈るとは、キリストが天上でわたしたちに与えてくださった地位に立つこと、権威をもってサタンに命じ、彼のすべての働きを拒絶すること、神のすべての命令は成し遂げられるべきであることを、権威をもって宣言することです——マタイ 6:9-10。
- G. 祈りの地位は昇天の地位であり、祈りの権威も昇天の権威です。昇天におけるすべての祈りは、権威の祈りです——エペソ 2:6. 1:22-23 :
1. 権威の祈りとは、昇天の地位に立つことによって命令を発することのできる人に

よる祈りです——イザヤ 45:11。

2. わたしたちが昇天の地位にいるなら、わたしたちの祈りは神の行政に等しいのです。それは彼の命令を執行することです——啓 8:3-5。

H. わたしたちが天の地位と天の権威を持ち、こうして権威のある祈りを発することができるという程度にまでなるとき、わたしたちは御座におり、主と共に王として支配します——エペソ 2:5-6. 啓 3:21. 参照、エゼキエル 1:26 :

1. この時点で、わたしたちの祈りは、権威のある祈りであるだけでなく、王として支配する祈りでもあり、わたしたちの祈りは神の行政、すなわち神の支配の執行となります——ローマ 5:17, 21. マタイ 18:18. 啓 8:3-5。

2. わたしたちが進んで学ぶなら、わたしたちは神の永遠の定められた御旨の成就のために、そのような祈りを発することができるというところに到達するでしょう——エペソ 1:10-11. 3:9-11。

©2025 *Living Stream Ministry*